

<p>No.163 2023.05.25 (令和5年)</p> 	<p style="text-align: center;">あつぎ</p> <p style="text-align: center;">— 支部だより —</p> <p style="text-align: center;">あいかわ あつぎ あやせ えびな きよかわ ざま やまと</p>	<p style="text-align: center;">もくじ</p> <p>1.....支部長新年のご挨拶 2～3...監督署長年頭のご挨拶 新会員のご紹介 監督署職員座席配置図 4.....厚木支部定期総会 支部からのお知らせ 5.....遺囑 6～7...健康CHANNEL 8.....ディスカバリーあつぎ</p>
<p>発行：(公社)神奈川労務安全衛生協会厚木支部 編集：広報部会</p>	<p style="text-align: center;">E-mail: toi_12@roaneikyo.or.jp http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/atsugi/index.html</p>	<p>〒243-0018 厚木市中町3丁目1-7 TEL (046) 259-8118</p>



『新年度のご挨拶』

厚木支部長 立脇 政幸
日立Astemo株式会社 厚木工場

神奈川労務安全衛生協会厚木支部の皆様、日頃より安全と健康保持増進の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度を締めくくる明るいニュースとしてWBC大会で、日本が世界一となりました。では、なぜ日本チームが優勝できたのか？シリーズの戦いを振り返ると、安全衛生活動の我々も非常に学ぶことが多くあると感じました。それは、決してあきらめない志と仲間を思う「思いやり、助け合い、勇気づけ合う気遣い」、そして絶対に勝つぞ（やりきるんだ）と言う強い気持ちがチームを一丸にして、一枚岩となり一致団結した結果が、あのスター軍団のアメリカとの接戦を制し14年ぶりの優勝につながったのだと思います。

私たちも、23年度は侍ジャパンの活躍を見習い、大谷翔平のようにチームを鼓舞する熱量でリーダーシップを発揮し、各事業場の安全衛生活動をやりきりたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

5月8日からはコロナも5類へ引下げとなり、この3年間、自粛や中止としていた講習会も大きな転換期を迎え、withコロナの元ではありますが段階的に平時の支部活動を回復させていきます。これを受けて技能講習も、昨年度27回開催4回中止、教育講習は、昨年9回開催6回中止でしたが、今年度は、それぞれ技能講習、教育講習共に計画通り開催できますよう運営してまいります。

その中で今年度は、労働災害の中で最も多い『転倒災害』（日本全体：2022年28,421件）の未然防

止についても安全週間推進大会や労働衛生研修会の中で取り組みます。

転倒の典型的なパターンは「滑り」、「つまずき」、「踏み外し」の3つです。いずれもちょっとした原因から災害につながっていますので、現象別に対策につながる各種企画立案を推進していきます。

また、化学物質起因の労働災害防止に向けて労働安全衛生規則が昨年5月に改正されました。多くの内容が2023年4月または2024年4月に施行されます。2023年4月時点では、ばく露濃度の低減措置、衛生委員会での付議事項の追加（①ばく露濃度の低減措置について）、保護具の使用が努力義務となっており、2024年4月では、衛生委員会での付議事項の追加（②「濃度基準値設定物質」のばく露程度を基準値以下にするための措置、③リスクアセスメント対象物に関する健康診断、④「濃度基準値設定物質」について、基準値を超えてばく露したおそれのある従業員に実施した健康診断について）、化学物質管理者の選任、保護具着用管理責任者の選任が義務づけとなる等、実施内容が多岐にわたるため厚木支部としましても今年度厚くサポートを図って参りたいと思います。

最後に新たに着任された厚木労働基準監督署山崎署長、松下副署長はじめ多くの関係者の皆様の相変わらぬご指導・ご鞭撻をいただけますと共に会員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。



『着任のご挨拶』

厚木労働基準監督署
署長 山崎 嘉之

日頃から、神奈川労働安全衛生協会厚木支部会員事業場の皆様方におかれましては、労働行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年4月1日付けで、厚木労働基準監督署長に着任しました山崎です。

私は、平成12年以来、2度目の厚木労働基準監督署の勤務になります。勤務していたのは20年以上前ですから、管内の風景は大きく変わりました。大型商業施設や、高層マンションが目立つようになりました。相模川沿いには圏央道（さがみ縦貫道路）が完成し、海老名市を起点とする新東名高速道路が秦野市まで開通しました。高速道路周辺には大型物流施設も多数建設されました。さらに鉄道についても、今年3月には相模鉄道が都心との直通運行を開始しました。今後も発展が期待される地域であると感じているところです。

ここ3年間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、社会生活に様々な影響が出ていましたが、5月8日から、感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザと同じ第5類へ移行されました。これによって、1日も早く通常の社会生活に戻っていくことを期待したいと思います。

さて、令和4年の当署管内の休業4日以上労働災害件数は1,925件（速報値）となり、令和3年の1,248件より677件増加しました。

また、死亡災害件数は7件で、令和3年の5件から2件増加しました。休業災害の件数には新型コロナウイルス感染症によるものが800件以上含まれていますので、その件数を除くと前年より労働災害の総数は微減したといえます。

令和4年度は、第13次労働災害防止推進計画の最終年でもありました。新型コロナウイルス感染症の件数を除いたとしても、残念ながら目標は達成できませんでした。今後、詳細な分析を行います。今年度から新たに第14次労働災害防止推進計画がスタートしましたので、引き続き災害防止にご尽力頂きますようよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中であっても、働き方改革の時計の針は止まっておられません。令和6年4月1日には、労働時間の上限規制の猶予事業・業務であった建設事業、自動車運転の業務等にも労働時間の上限規制が適用となります。コロナ禍に続き物価高騰等厳しい状況が続きますが、働き方改革は、少子高齢化社会に向かう日本において多様な働き方を選択できる社会を実現するための重要な処方箋です。こちらの対応もよろしくお願いいたします。

今後とも労働行政にご理解とご協力を賜るとともに、貴支部及び会員事業場の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

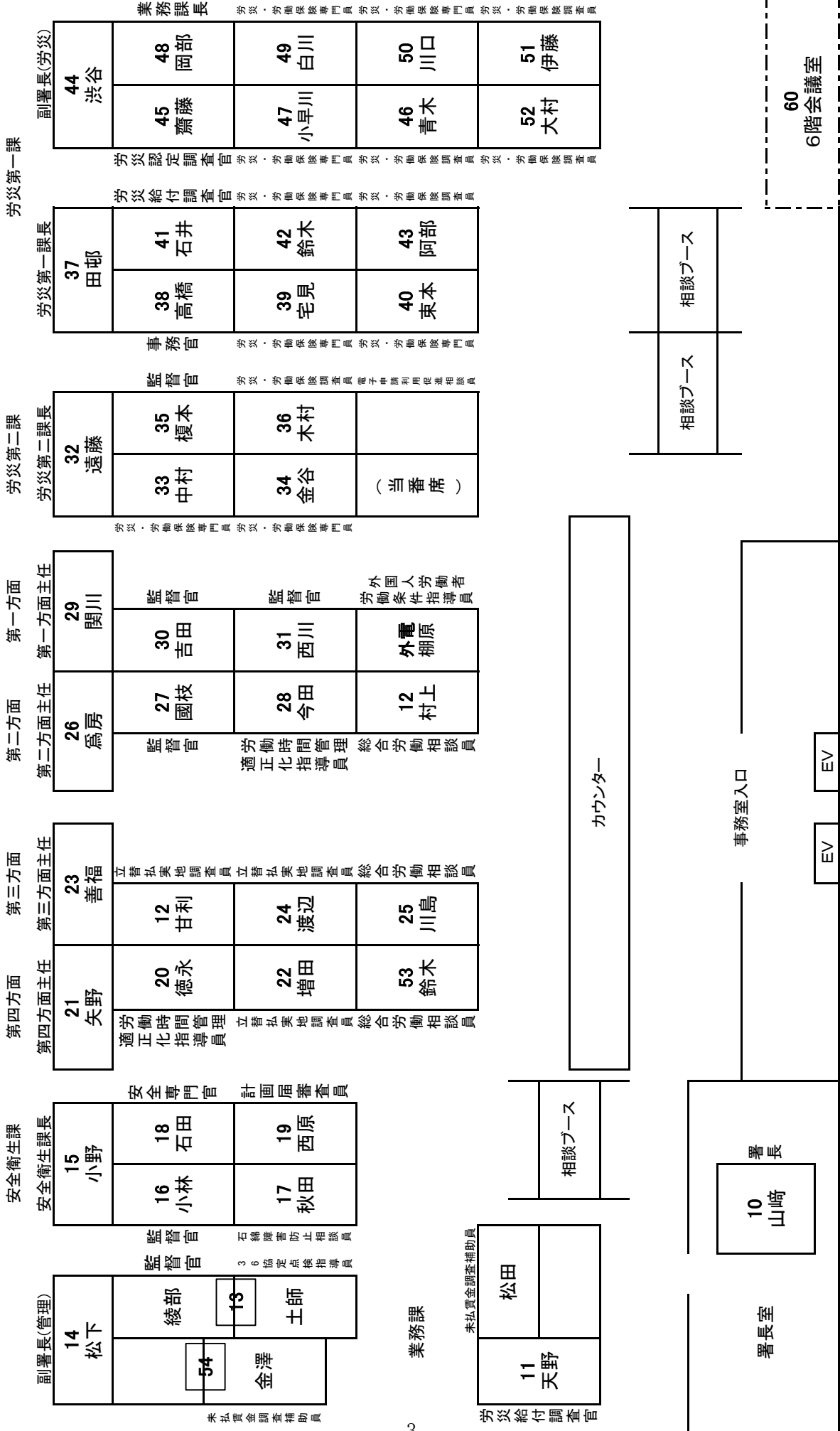
『新会員のご紹介』

当支部には様々な業種の事業所が加入されており、それぞれ特色ある企業活動をされています。令和4年度は1事業所に入会いただきました。

株式会社 ミツバ 厚木研究開発センター（厚木市）

R05.04.01現在

令和5年度 厚木労働基準監督署 配置図・内線表



令和5年度厚木支部定期総会開催

令和5年度(公社)神奈川労務安全衛生協会厚木支部定期総会が4月26日(水)レンブラントホテル海老名にて開催されました。



進行を務める厚木支部金丸事務局長よりご来賓の厚木労働基準監督署長の山崎様、副署長の松下様、安全衛生課長の小野様が紹介されました。

続いて総会成立に関して「総会員404事業場のうち330事業場の出席および委任状が提出されましたので、厚木支部規約第20条に則り本総会は成立しています」との報告がなされました。

議事に先立ち、職場安全衛生功労者2名の名前が読み上げられ、壇上にて立脇支部長より感謝状および記念品が授与されました。

進行を務める厚木支部金丸事務局長よりご来賓の厚木労働基準監督署長の山崎様、副署長の松下様、安全衛生課長の小野様が紹介されました。



議事の進行役は支部規約に基づき立脇支部長が議長に選任され、挨拶をされた後に議事が進行されました。第1号議案「令和4年度年度事業報告」、第2号議案「令和4年度収支決算報告」を金丸事務局長、第3号議案「令和4年度会計監査報告」を島田会計監査から報告され、第4号議案「令和5年度事業計画(案)」、第5号議案「令和5年度予算(案)」、第6号議案「役員選任(案)」を金丸事務局長より説明され、すべての議案は満場の拍手により承認可決され、議長が解任されました。

最後に、ご来賓の山崎署長よりご挨拶を頂き、総会はすべての次第を終えました。



令和4年度職場功労者表彰

永年にわたって自社の安全衛生活動の推進に努力され、顕著な功績のあった職長を表彰する「職場安全衛生功労者」に2名の方が表彰され記念品が贈られました。



アンリツ株式会社 大内 由美さん

日産自動車(株)先進技術開発センター
高木 光春さん

写真：左から三島副支部長、高木光春さん、立脇支部長、大内由美さん、加藤副支部長

『支部からのお知らせ』

講習会・研修会の開催情報は厚木支部ホームページをご覧ください

<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/atsugi/index.html>



『大山登山マラソン』

AGCオートモーティブAMC株式会社
相模工場 小峯雄二

大山登山マラソンは毎年3月に伊勢原駅前をスタートして、大山阿夫利神社下社をゴール地点として約9kmを駆け抜けるマニアックな大会です。ここ3年はコロナの影響で中止となっていましたでしたが2023年はめでたく開催となりました。コロナ前に比べると参加人数が減ってはいますがそれでも1700人ものランナーが走りました。



大山登山マラソンの歴史は、昭和5年に県下における駅伝のはしりとも思われる大山阿夫利神社節分祭駅伝競走大会が始まった。中郡はもとより、近隣町村の青年団も参加し秦野市四つ角～土沢～岡崎～伊勢原～大山阿夫利神社下社のコースで行われた。この大会は昭和41年まで都合35回にわたり続けられた。

また、昭和15年の紀元2600年記念行事のひとつに、大山節分祭駅伝に大山阿夫利神社の奉納太刀を取り入れ、戦勝祈願と必勝を期して、日本刀（木製）をたすきの代わりとした太刀リレーを行った。太刀もちの選手に伴走者2名を加え1チーム3名づつ走る独特な方法で、中郡青年団の西部、南部、北部の3チームで曾根神社をスターとし、金目、豊田本郷、伊勢原を通り大山阿夫利神社下社まで競争した。この方法は昭和19年まで行われた。（参考県体育資料等）

当日の天気は曇り、寒さは感じない。むしろマラソンには少し暑いくらいである。10時の号砲と共に50～60歳代からスタートして時間をおいて若い年代が走り出す。序盤は平たん路が続く新東名のガードを超えた辺りから徐々に登り坂が増え、6

kmを超えてバス折り返しまでがかなりの傾斜となり、走っても歩いても変わらないような感覚に陥る。心臓



が壊れるんじゃないかと思うくらい心拍が上がり足も攣りそうである。何とかバス折り返しまで到達し7km走破。油断は禁物、ここから駒参道（お土産屋が立ち並ぶ）を経てフィニッシュの下社までは1610段の石段が待ち構えていて、本格的な登山道となる。大会では女坂を登るが石段は不規則で登りにくい、石には先行ランナーの汗の雫と思われる跡が無数に点在していて過酷さが見て感じられる。私のフィニッシュのタイムは1時間10分となった。ちなみに60歳代の優勝者のタイムは52分01秒。超人です。

ゴール後にはお粥とお汁粉が振舞われ疲れた体を癒してくれる。

達成感と疲労感が何とも言えない。

ここ数年はランナーの友達も増えて、この大会後の反省会は本厚木の酔笑苑での焼き肉が恒例となっている。これもまた楽しみの一つである。と言うかこちらがメインなのかもしれない。



大会への参加は日ごろでは味わうことが出来ない体験をさせてくれる。大人数で走ることや、車道をランナーが占有して走る。この大会だから駅から走るが普段は決してやらない。いろんな意味でチャレンジさせてくれることに大会出場の意味があると私は思っている。



『熱中症にご注意を！』

株式会社 I J T T 海老名工場
診療所 佐々木 佳菜

皆さん、だんだん暑さが増す頃となりましたが、熱中症対策の準備は進んでいますでしょうか。

「熱中症」とは、高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、循環調節や体温調節などの体内の重要な調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称です。

まず、熱中症を防ぐためには、それぞれの場所に応じた対策を取ることが重要です。

暑さを避ける、身を守る

●室内では

- ・扇風機やエアコンで温度を調節
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ・室温をこまめに確認
- ・WBGT 値も参考に



●屋外では

- ・日傘や帽子の着用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・直射日光の強い日は、日中の外出をできるだけ控える



●からだの蓄熱を避けるために

- ・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす



こまめに水分を補給する

室内でも、屋外でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給しましょう



特に注意したい方々

- 子どもは体温の調節能力が十分に発達していないので、気を配る必要があります。
- 熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。（高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能やからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。）
- 障がいをお持ちのかたも、自ら症状を訴えられない場合があるため、特に配慮しましょう。



**万が一、自力で水が飲めない、意識がない場合は、
ためらわず救急車を呼びましょう!**



熱中症の応急処置

チェック1 熱中症を疑う症状がありますか？

(めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温)

はい

チェック2 呼びかけに反応しますか？

はい

涼しい場所へ避難し、
服をゆるめ体を冷やす

チェック3 水分を自力で摂取できますか？

はい

水分・塩分を補給する

大量に汗をかいている場合は、
塩分が入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水がよいでしょう



チェック4 症状がよくなりましたか？

はい

そのまま安静にして十分に
休息を取り、回復したら
帰宅しましょう

いいえ

救急車を呼ぶ

救急車が到着するまでの間に
応急処置を始めましょう。呼びか
けへの反応が悪い場合は無理に
水を飲ませてはいけません



涼しい場所へ避難し、
服をゆるめ体を冷やす

氷のう等があれば、首、わきの
下、太もものつけ根を集中的に
冷やしましょう*



医療機関へ

本人が倒れたときの状況を知っ
ている人が付き添って、発症時
の状態を伝えましょう



*スポーツや激しい作業・労働等によって起きる労作性熱中症
の場合は、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。

2018年以降の業種別の熱中症の死傷者数をみると、建設業、次いで製造業で多く発生しています。早め早めの対策をして自分自身や周囲の人を守ることが出来るよう備えをしましょう。

出典・参照：厚生労働省ホームページ ([熱中症を防ぎましょう | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp))

参照：[職場でおこる熱中症 | 職場における熱中症予防情報 \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp)



『犬と一緒に休日』

厚木支部 事務局長
金丸 晋

今回のディスカバリーあつぎは宮ヶ瀬湖にある宮ヶ瀬湖畔園地についてです。年に数回訪れます。それは自宅にいるジャックラッセルテリアが元気でよく歩くのでそれをかなえる場所、仕事のストレスを解消するような緑が多い場所に行く事を目的としているからです。犬の名前はモナカという女の子です。年齢は昨年



11歳となりましたが今も非常に元気です。人間の年齢にすると還暦ぐらいです。家にやってきてからは休みの度に車でどこかに連れて行ってくれるものだと当たり前と思っています。

行き先は何処に行っても喜んで歩き回っていますが特に人が多いところと、緑が多い場所が好きみたいです。

そんなお気に入りの場所の一つに宮ヶ瀬湖畔公園があります。車はいつも水の郷駐車場という場所に止めます。駐車場の場所が飲食店の多くある場所から近いからで、休日には多くの人が集まる場所で人が多いところが好きなモナカさんは特にお気に入りみたいで、その場所を何周も歩き回ります。また店舗の人が猫に餌付けしていてその猫にちょっかいを出す目的で猫探しも同時にしています。そんなモナカさんには付き合っていられないので無理やり公園の方へ引っ張っていきます。飲食店が多いところは高台にあるため公園全体が見ることが出来ます。

ゆっくり下っていくと途中にレストランがありその奥に宮ヶ瀬湖を一望できる場所があります。これからの時期は新緑が楽しめる場所です。さらに下っていくと水の郷大吊り橋を渡る道との分岐点になりますが、モナさんは高いところが苦手なのか必ず公園の奥に向かい、つり橋を渡ろうとはしません。最初に訪れた時に渡ったのですが一切周りを見ないで一目散につり橋を渡って行きました。それからは渡らせようとしてもとても嫌がります。さらに歩いて行くと遊覧船乗り場があります。新型コロナウイルス感染拡大で長い事運行本数も少なく、緊急事態宣言発令時には運休していた時もあったみたいです。

右手には宮ヶ瀬湖水の郷親水池がありますがモナカさんは一切見向きもしないでひたすら歩きます。

たまに犬ずれの人たちに合うとほとんどの場合自ら寄って行って挨拶をしますが、ある犬種は一方的に毛嫌い(?)しているらしく見向きもしません。また大型犬には非常に好意的で尻尾を振りながら寄っていきますがなぜか尻尾を振りながら吠えたて攻撃的になってしまいます。10年以上一緒にいますが理解できない行動の一つです。



さらに歩いていき宮ヶ瀬湖水の郷親水池を左手に見て歩いていくと右手に人工的に作られた川が流れていて夏は水遊びが出来るようになっていますが、モナカさんは冬でも水遊びをしようと川に入ろうとすることを阻止している自分がいつもいます。そして思い出すのは夏には海だろが川だろが自ら水に飛び込む姿です。とにかくお転婆です。

見の前には芝生の広場ありますが、一切関係なくひたすら歩き続け目の前にはメイン階段めがけて歩き続けそして一気に駆け上がろうとします。とてもついていけませんし底知れない体力がある事を感じてしまいます。階段を上り先ほどの飲食店の場所に出ますがまた数周して猫を探し、公園へと向かって歩きます。これを最低2回して多い時には3回します。いい加減飼い主の体力が続かないので、無理やり駐車場まで引っ張っていき飼い主はへとへとになってしまいます。モナカさんは車が動き出すと何か食べ物よこせとねだり食べた後は深い眠りについて家に着くころには体力が回復し、よく食べて夜の散歩に連れて行けとおねだりをしてきます。本当に幸せな犬だと心から思っています。そんなモナカさんとの休日が結構気に入っている私です。

この付近には少し離れますが牧場があったりして楽しめる地域です。皆さんも是非一度出かけられた如何でしょうか？